

六ヶ岳 (むつがだけ)

福岡県 鞍手郡・宮若市 2023年 8月20日

山頂展望 360度の低山



さほど広くない山頂広場だが、夏花がたくさん咲いていた

本日のコース <全行程 2時間54分>

駐車場 10:20 → 鞍手登山口 10:27 → 8合目 11:01 →
出逢いの広場 11:17 → 六ヶ岳(朝日岳)山頂 11:26 <休憩> 12:24 →
鞍手登山口 13:04 → 駐車場 13:10

真夏の低山の洗礼を受けた酷暑登山だったが、山頂で吹かれた清涼な風に救われた。加えて、日当たりの良い山頂では、暑さに負けずに咲く夏花に癒され、一気に疲れが吹っ飛んだ。六ヶ岳は六つの峰からなる山塊の総称で、最高峰は朝日岳の339m。我々は今回朝日岳のみの登頂だが、ピークハンターは全ての峰を辿るらしい。山頂で昼食休憩をしていると、単独行の登山者が三人次々と登頂してきた。それぞれ地元の常連さんとお見受けした。酷暑の中の単独登頂を見て、「この山も地域に愛されているんだな～」と感じる瞬間だった。



駐車場 10:20 スタート

先着車は4台。この酷暑の中だが、我々と同じような登山者がいるのは心強い。
登山口までは2分程坂道を上り、広い車道に出て5分位で到着。



広い車道に出て左へ 10:23

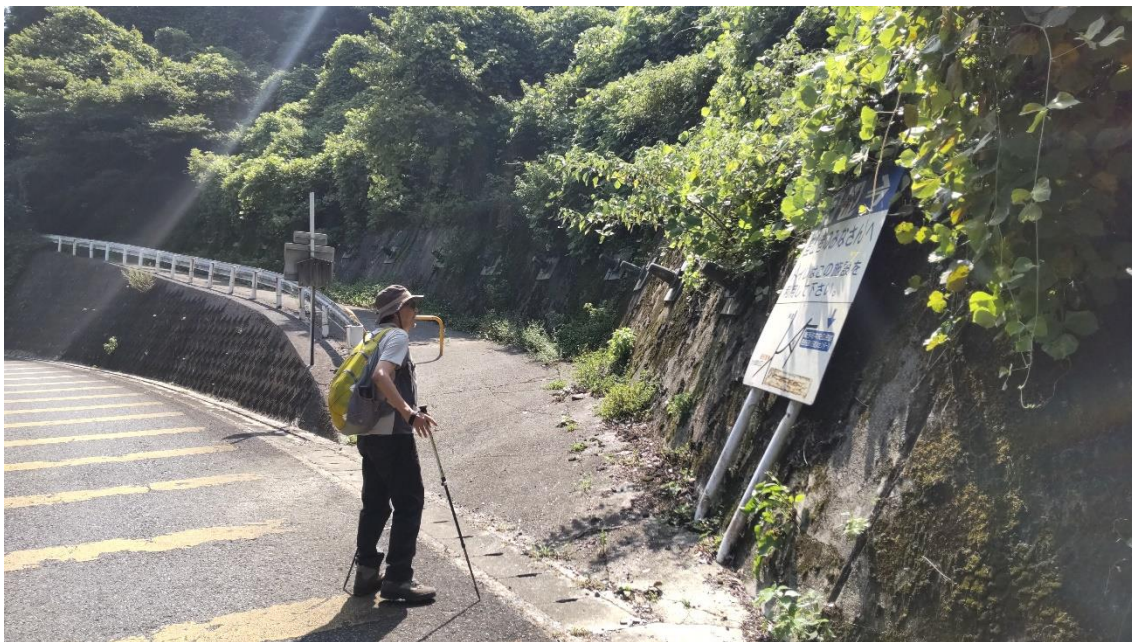
右上のグリーンの交通標識は長谷観音への案内板



長谷観音へは下山後に参拝することにした。



登山口へ向かって車道を歩く 10:26



鞍手登山口 10:27 さあこれから六ヶ岳へGO！



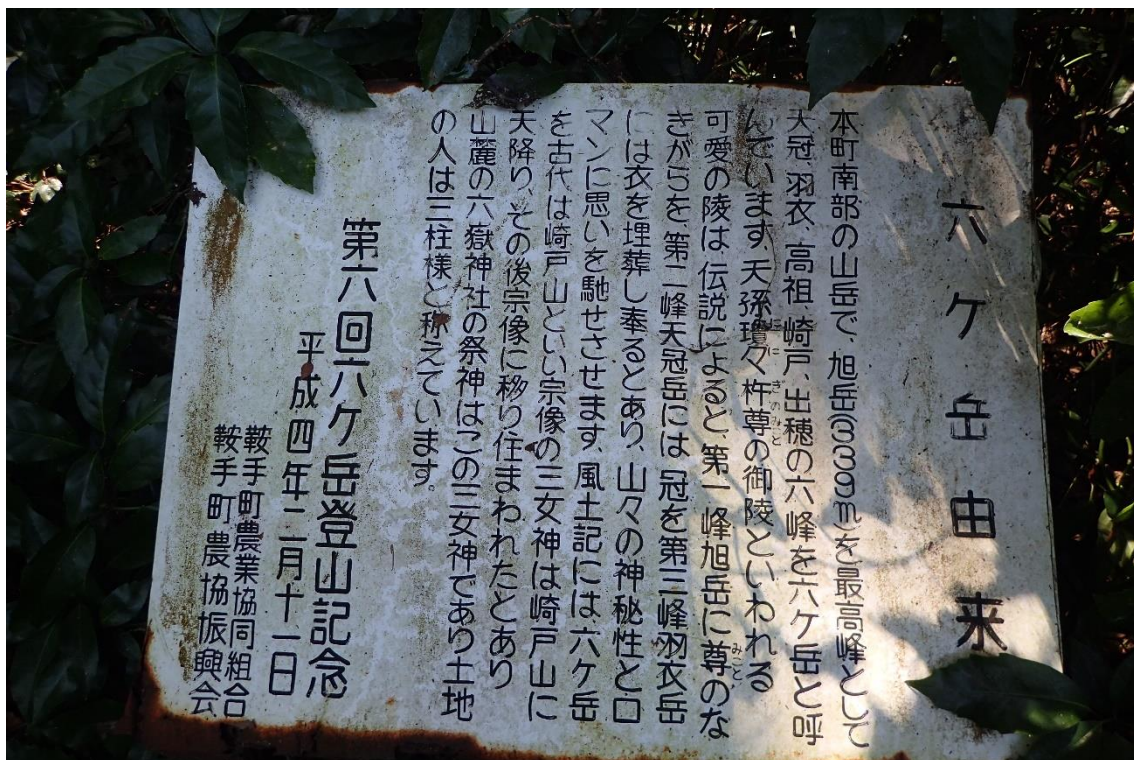
駐車場＆トイレの説明MAP

駐車場にはトイレも併設されてとてもありがたい。

しかもとても綺麗なトイレだった！



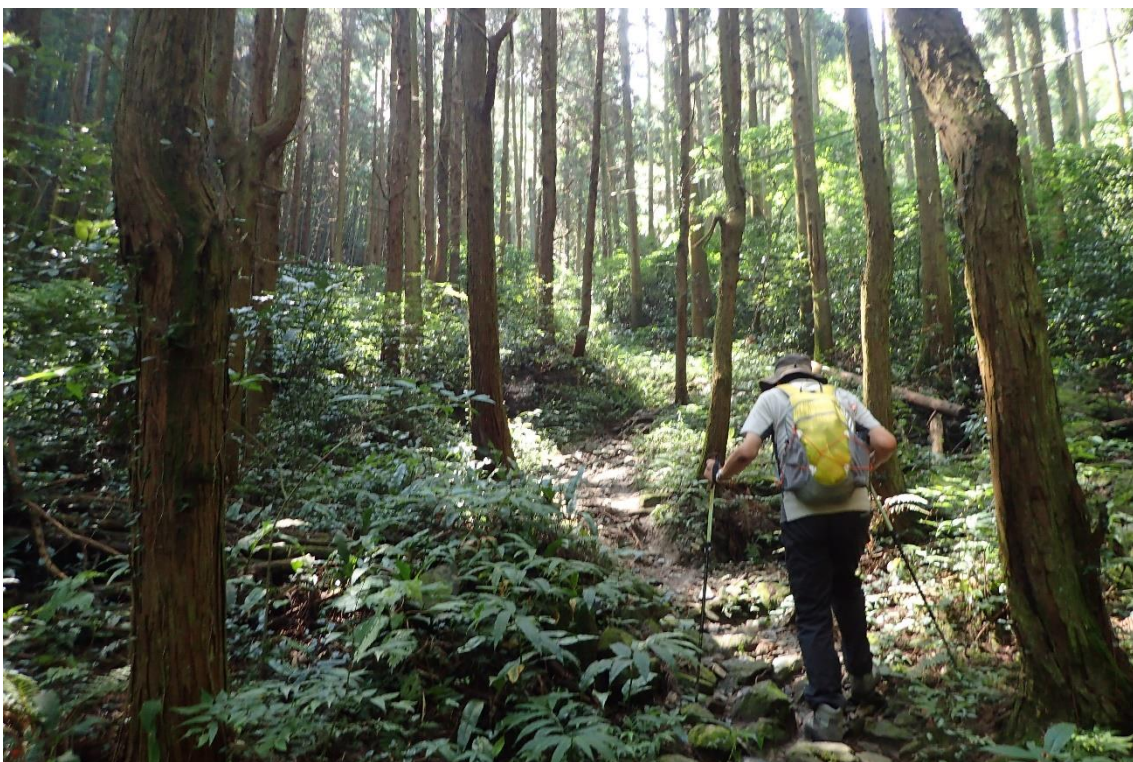
鞍手登山口 10:27



六ヶ岳の由来



最初はコンクリート道だったが・・・ 10:30 今回もT師匠との同行登山



すぐに自然道に変わった 10:34 登山道は整備されている
T師匠の後姿は、どこか「日本百低山」でお馴染みの「吉田 類」に似ているかも？(笑)



緩やかだった登山道は途中から急勾配になった 10:45



8合目 11:01 余裕でなんなく通過……ではなく…
実は汗がダラダラと流れ、夏の低山の洗礼を受けている(涙)



8合目標識 頂上まで280m



出逢いの広場 11:17 先行のT師匠がベンチで休んでいた



直方方面からの登山道がここ「出逢いの広場」で合流している



我々は鞍手方面から上ってきた。
登山道の勾配は急だが、山頂までの距離は鞍手登山口からのルートが最短となる。



キンミズヒキ



鉄塔の前を通過すると・・・ 11:17



六ヶ岳山頂 11:18 339m



登頂した六ヶ岳の山頂は、6つある峰の中で最高峰。その名は「朝日岳」
 <六峰> → 朝日岳・出穂の峰・高祖の峰・崎門の峰・天冠の峰・羽衣の峰



二人で記念撮影後、ノンアルコールビールで乾杯。



ゲンノショウコ



センニンソウ(有毒)



ヤブラン



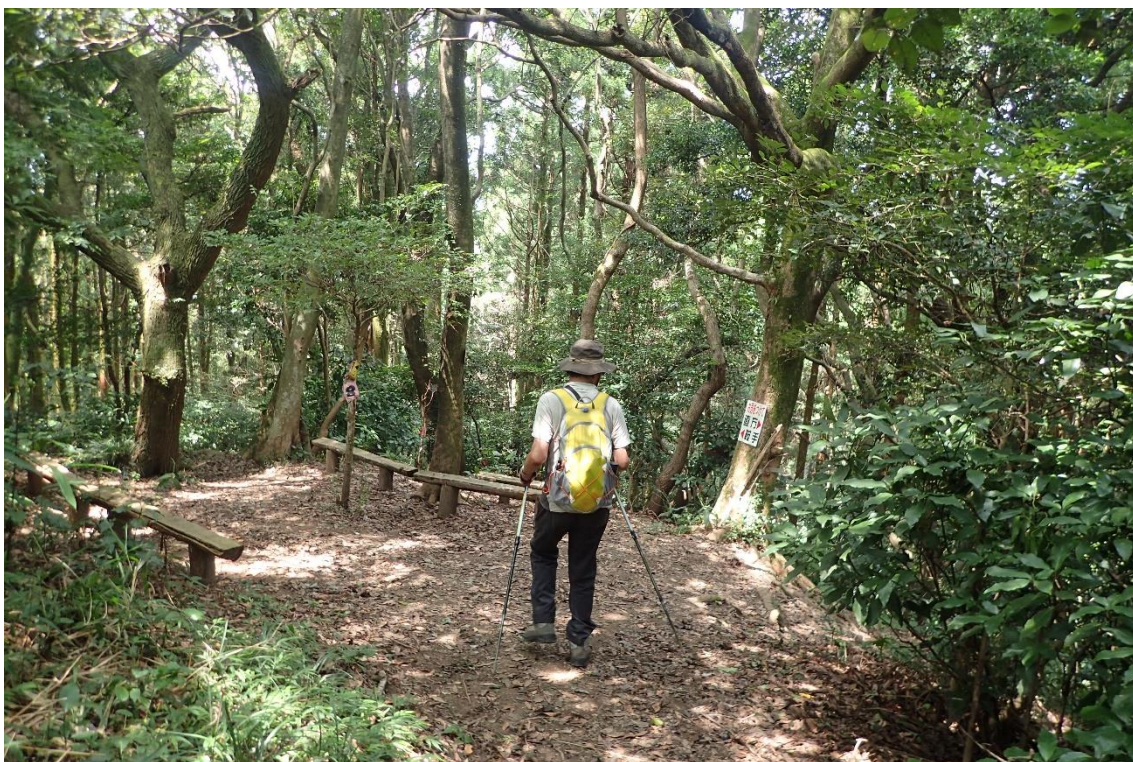
キセワタ



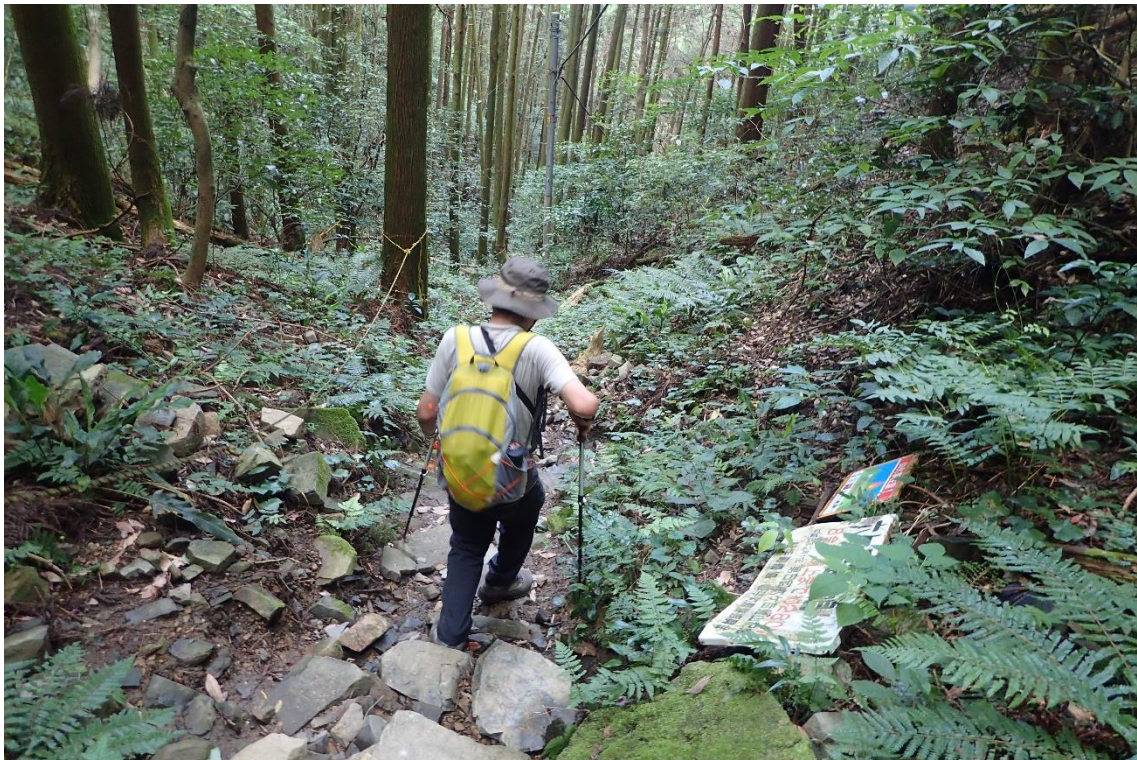
昼食を終え、下山する前に360度の景色を見納める 12:23
少し霞んでいるが皿倉山から続く福智山山系を見ることができた。



下山開始 12:25 鉄塔前を通過



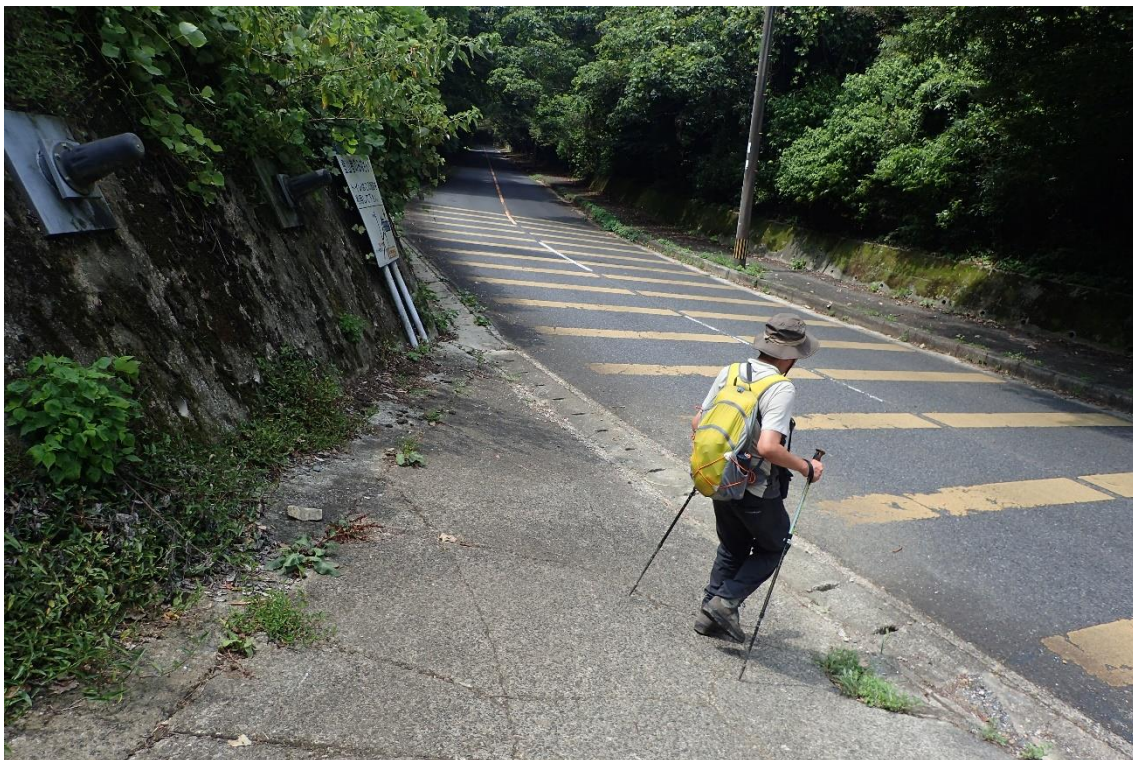
出逢いの広場を通過 12:27



8合目を通過 12:35



黙々と下って登山口まであと少し 13:00



鞍手登山口 13:04 車道を横断して左へ



駐車場 13:11 無事下山でゴール
さあこれから車で「長谷観音」に行ってみよう！

長谷観音（駐車場から車で2分程度）



鞍手町の長谷地区にある885年に開かれたとされる古刹。



”長谷の観音さん”の呼び名で親しまれている。
本尊の十一面観音菩薩立像は国指定重要文化財として登録されている。



行基の作と言われる観音菩薩はこの中だろうか？一度見てみたい。



<観音の檜> 樹齢推定500年



<長谷の三尊樹> 長谷観音境内には3本の樹がある。(鞍手町指定文化財)

六ヶ岳から下山後に歴史ある長谷観音に参拝して鞍手町の文化に触れることが出来た。

六ヶ岳との関係性も何かしらあるのだろうか？

それにしても初めての山は、いつもワクワクして楽しいものだ。

この後、本日2座目の「剣岳」に向かった。